三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2013.1.7
No.2062
No.20

出席率	会員48名中40名
先々週の出席率	93.62%
ヴィジター	米山奨学生　ツァイブトン・ドルジ君
先週のメークアップ	12/18 三条北RCへ　馬場眞樹君 野崎正明君　佐々木常行君　吉井正孝君 12/19 三条RCへ　野中　悟君 12/20 三条東RCへ 馬場輝仁君　佐々木常行君　渡辺俊明君 12/23 地区青少年交換ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ & ｸﾘｽﾏｽ会（新潟）へ　佐藤嘉男君 12/25 三条北RCへ　野島廣一郎君

会長挨拶

三条南ロータリークラブ　会長

坂井範夫

皆さん、あけましておめでとうございます。

今年もあっという間に一週間が過ぎてしまいました。初詣、そして家族の里帰り、新年会・・・と忙しかったのではないでしょうか。

ロータリーの会員の大半は、“若い頃は先を見ると長いが、振り返ると短い”という人生でしたが、今や“先を見ると短い、振り返ると長い人生”だということになりました。しかし、兎にも角にも体調に気をつけてこれからも頑張ってゆきましょう。

私は、正月恒例となっております“弥彦参拝と登山”を兼ねて、2 日に行ってまいりました。金物屋グループでの行事でしたので、76 歳の当クラブメンバー 韮澤さんがリーダー、75 歳の目黒さんという方がアンカーとなり、私達 70 歳代が中に入って登って行きました。

その日は、頂上に近づくにつれ大風が唸り叫ぶような音を立て、3M 先もよく見えないような状況でした。600m代の山でそうですから、今回各山で遭難が相次ぎましたが、下界では想像もつかないようなことです。

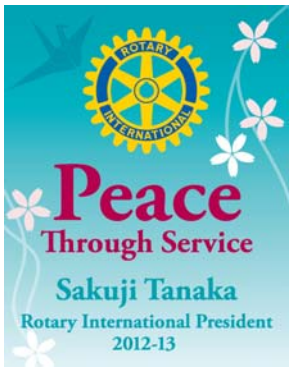
9 合目で、食堂に行くか、山頂を目指すか・・・各自頭の中で考えていましたが、リーダーの韮澤さんが何言わぬ顔で頂上に向かったのでみんなそれに付いて行き、やっとの思いで頂上のお宮に参拝してきました。食堂でお神酒をいただきながら皆がロ々に「誰か 9 合目でやめて食堂に行こうと言うのを待っていた、しかし誰も何も言わないで平然とした顔でリーダーについて行った」と話し、リーダーの韮澤さんも「誰かがやめようと言うのを待っていたが、誰も言わないので致し方なく頂上に向かった」と・・・みんなで大笑いしました。

そして、話し合う中で、“やはり無謀なことは出来ないが、挑戦はしなければいけない”という結論になりました。若い人はぜひ頂上へ向かって行ってほしい、9 合目でやめてしまえば 1 合目、2 合目も同じです。明治の人達は、

四つのテスト

ー言行はこれに照らしてからー

Ⅰ 真実かどうか
Ⅱ みんなに公平か
Ⅲ 好意と友情を深めるか
Ⅳ みんなのためになるか　どうか



国際ロータリー会長　田　中　作　次［埼玉、八潮］
第2560地区ガバナー　鈴　木　重　壱［長　岡］
第4分区ガバナー補佐　杉　山　太三郎［　巻　］
会　長　坂　井　範　夫
幹　事　丸　山　征　夫
S A A　永　桶　俊　一

事務局　〒955-8666三条市旭町2-5-10
三条信用金庫　本店内
TEL 0256-35-3477　FAX 0256-32-7095
E-mail　info@sanjo-minami.jp
URL　http://www.sanjo-minami.jp

“坂の上の雲”をめざして頑張り、日本を一流国へと導いたわけです。今の日本は、そのころとずいぶん違っていますが、このところ世界でも地位が落ち、国民も豊かでなくなったと言われていますが、どうかまた“坂の上の雲”を目指して行ってもらいたいと願っております。

表彰

❑ 米山功労クラブ

昨年 11 月 21 日、皆様より会費と一緒に、また米山奨学 BOX 協力としてお預かりしておりました中から お一人 10,000 円を米山功労者積立として送金いたしました。
今回の送金により特別寄付金累計額が 23,030,203 円となり、第 23 回米山功労クラブとして感謝状が贈られました。

坂井会長から鈴木武米山奨学委員長へ

米山功労クラブ

米山奨学会へのクラブの個人・法人の特別寄付金累計が 100 万円に達したときに、また以降 100 万円ごとに米山功労クラブとして表彰され、感謝状が贈られます。

ご協力有難うございました

幹事報告

丸 山 征 夫 幹事

●鈴木ガバナー事務所より

①「第 2 回米山奨学委員長セミナー」開催のご案内

＜日時＞ 2013 年 2 月 2 日（土）11：45～16：00 ＜会場＞ 長岡グランドホテル
＜出席義務者＞ 現・次年度米山奨学委員長

②2015－16 年度ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

＜推薦提出期限＞ 2013 年 2 月 15 日（金）

③1 月ロータリーレートのご案内

2013 年 1 月 1 日より １＄＝80 円 ⇒ 82 円

●山﨑ガバナーエレクト事務所より「2013－14 年度会長エレクト研修セミナー」開催のご案内

＜日時＞ 2013 年 2 月 23 日（土）10：00～17：00 ＜会場＞ 中条グランドホテル
＜出席義務者＞ 2013－14 年度地区役員、会長、幹事予定者

●三条ローターアクトクラブより「長久の家との交流餅つき大会」のご案内

＜日時＞ 2013 年 1 月 24 日（木） 19：30～
＜会場＞ 障害福祉サービス事業所「長久の家」

●三条市特別支援教育研究協議会より 市内特別支援学級児童生徒の「ウィンターフェスティバル」出席お礼

※2012 年 12 月 7 日 於：総合福祉会館 田代社会奉仕副委員長出席

委員会報告

親睦・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ・ﾆｺﾆｺﾎﾞｯｸｽ委員会 野中悟委員長

新年会 のご案内

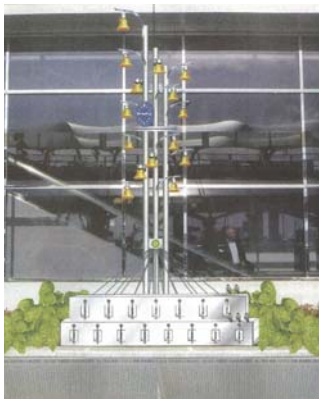
❍と き 2013 年 1 月 28 日（月） 18：30～
❍ところ 松 木 屋 （☎ 34－5252）
❍会 費 3,000 円
❍キャンセル 当日、AM10：00 までにご連絡ください。それ以降会費ご負担いただきます。

＊ぜひ大勢の皆様よりご出席いただきたくよろしくお願いいたします。また、新年句会への多くの作品が寄せられますことをお待ち申し上げます。

社会奉仕・広報委員会　　吉井　正孝 委員長

国際ロータリー第 2520 地区第８分区（阿武隈ゾーン）“一つ心に復興委員会”
❶「仙台空港をバナーで埋め尽くし被災者を見守る」
❷「仙台空港に　モニュメントを建立する」

プロジェクト支援協力について



仙台国際空港にモニュメントを立て、日本中のバナーを飾り、ロータリーは被災者に寄り添い見守っている証として、夢と希望を届けたい・・・の趣意のもと

❶プロジェクト総事業費
2,200,000 円（持出 200,000 円）
仙台空港ビルと協議しながら年 2～3 回計画

❷プロジェクト総事業費
22,000,000 円（持出 2,000,000 円）
カリヨン 15 鐘建立、仙台空港ビルと協議しながら年 1 回カリヨン演奏会を企画

他　❸「放射能測定器寄贈のお願い」プロジェクト
測定器　5台　　事業費　7,500,000 円

❹「荒れ果てた田圃に菜の花を咲かせる」プロジェクト　事業費　1,800,000 円
❺「垣理・山元『ふるさと祭り』で子供達に T シャツ配布」プロジェクト

上記プロジェクトの支援協力が鈴木ガバナー事務所経由参りました。本日の理事会にて、南クラブとして
① クラブバナーを送る　② ニコニコボックスより　クラブ協力金として　100,000 円を贈る
③ 会員にも任意で協力を求める（1 口 10,000 以上）
・・・クラブ事務局に協力金を添えてお申込み下さい。クラブよりまとめてお送りいたします。
なお、ご支援いただいた方のお名前がモニュメントの下に刻まれます

として対応、協力することが決まりました。会員皆様にもご理解、ご支援をお願い申し上げます。

ニコニコボックス
NIKO-NIKO BOX

～ 1 月 7日 26,000 円
今年度累計 502,000 円
＋600 ﾊﾞｰﾂ ～

坂 井 君　明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
予算が足りません。ﾆｺﾆｺﾎﾞｯｸｽへのご協力、お願いいたします。

丸山(征)君　昨年はいろいろとお世話になりました。
本年は良い年になりますように･･･。

馬場(信)君　癸巳（みずのとみ）年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念します。私にもさらなるご指導･ご支援をお願いいたします。

滝 口 君　やっと時間が出てきました。本年も良い年になりますようにボックスに協力！

西 巻 君　今年は良い年になりますよう願っております
よろしくお願いします。

坪 井 君　明けましておめでとうございます。
皆様にとって本年が良い年となりますように祈念いたします。

韮 澤 君　新年明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
健康に留意し、元気で過ごしましょう。

安達君、大渓君、草野君、熊倉君、佐藤(秀)君、佐藤(嘉)君、鈴木(圀)君、鈴木(武)君、田代君、西潟君、野崎君、野島君、野中君、馬場(一)君、丸山(徹)君、吉井君、渡邊(久)君、渡邊(光)君
新年あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いいたします。
BOXに協力！

Club Forum　クラブフォーラム

❶ 2012～13 年度半期決算報告について　・・・　野島　廣一郎 会計
配布資料をご覧ください

❷ 2013～14 年度役員・理事・委員会組織について　・・・　草野　恒輔 会長エレクト
配布資料をご覧ください

ロータリーの友　1月号についてご紹介いたします。

〔横組みページから〕

1 *P-1　RI会長メッセージ*

「ロータリーの徽章をいつもあなたの襟に」　　RI会長　田中作次

「ロータリーの徽章を着けていれば、どこへ行っても、誰が見ても、私がロータリアンであることは一目瞭然です。それを目にした人がロータリアンであれば、私が友人だとわかるでしょう。徽章は、ロータリアン以外の人の目にも留まります。それらの人たちみんなに、この徽章の意味を理解してほしいと思っています」と田中会長は述べています。そして「誰かにロータリーの徽章のことを尋ねられたら、すぐに答えられるようにしておきましょう」と公共イメージの向上に結びつけ、徽章を紹介されています。

2 *P-5*
～16　*特集　ロータリーの友　創刊60周年　ロータリアンを結んで60年*

戦後、国際ロータリーに復帰したのち1つだった日本の地区が、1952年7月から2つに分割。日本全国のロータリアンを結ぶため1953年1月、『ロータリーの友』が創刊されました。 その後60年、日本のロータリアンとともに、『友』は歩んできました。

3 *P-17*
～25　*特集　ロータリー理解推進月間　新しいロータリーを知る*

1月はロータリー理解推進月間です。それに因んでロータリーの最新情報、ロータリーの公共イメージの向上について紹介されています。

●「ロータリーの目的」と「RI戦略計画の理念」

「The Object of Rotary（ロータリーの綱領）」の日本語訳が 「ロータリーの目的」と改訂されます。英語表記は従来のままですが、日本語訳は「ロータリーの目的」と変わり、内容も現代的な表現に変わります。

この「ロータリーの目的」と「RI戦略計画の理念」である「本質（ビジョン）」、「使命」、「中核的価値観」との関連について解説されています。

4 *P-26*
～32　*Rally to the finish　ポリオ撲滅サイクリング　　END　POLIO　NOW*

ドイツのロータリアンが、ポリオ撲滅のために自転車でバイエルン地方の田園地帯を走り抜けました。　また、ポリオ撲滅に関しての日本のロータリアンの活動が紹介されています。

・ポリオ撲滅を願ってサロマ湖100㎞ウルトラマラソンを完走
・田中RI会長が元ポリオ患者のロータリアンと対談

5 *P-38*
～42　*心は共に　東日本大震災　ロータリー、多岐にわたる活動*

震災復興への様々なロータリアンの活動事例が紹介されています。

・チェコ プラハロータリークラブからの手紙　心の復興を願って
・福島キッズキャンプin北海道　飯館村の小学生のはじける笑顔
・「掛け橋の翼」交換事業
・感動のフィナーレ　ありがとうの声につつまれて

6 *P46*
～47　*よねやまだより　ありがとう、ロータリアン！　約束の実現に向けて*

米山学友　黄麗容

突然訪れたカウンセラーとの別れ。悲しみに暮れる黄麗容さんの脳裏に浮かんだのは、生前にカウンセラーと交わした約束「発展途上国の教育支援を通じて恩返しをします」というものでした。そのために彼女が選んだ道は、一人でも多くの人に途上国が抱える様々な問題を考えてもらい、支援の手を増やすための人材育成。昨年10月、First Penguinを設立した黄さんは、約束の実現に向けて走り続けています。

〔縦組みページから〕

7 *P2*
～6　*好奇心は人生の栄養*　　作家　竹田真砂子

好奇心というものは生涯持ち続けるべきものだと思っております。大田南畝は大変なメモ魔で、片っ端からメモにして残しております。これが彼の好奇心の成せる業なんですが、何でも面白かったのだと思います…

8 *P7*
～9　*この人、この仕事　ピンチを成長のバネとして*

アイリスオオヤマ（株）代表取締役社長　大山健太郎

職業を通じて会員個人を紹介。今回は仙台ロータリークラブの会員です。

以上、興味深い記事をご紹介いたしました。ぜひご一読下さい。

（クラブ会報委員会）

ROTARY NEWS

国際ロータリー・ニュース ： 2013 年 1 月 14 日

次年度のテーマは

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

米国サンディエゴで開催中の 2013 年国際協議会の開会本会議で、ロン・バートン会長エレクトが 2013-14 年度のテーマ、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」を発表しました。国際協議会は、次期地区ガバナーが世界中から集まり、次年度の就任に向けて研修を受けるための会合です。

「ロータリーの奉仕の発展を心から願うならば、今、ここにいる私たちが抱いているのと同じ気持ちを、すべてのロータリアンに抱いてもらわなければなりません」とバートン会長エレクト。「すべてのロータリアンが重要な役割を果たすようにするとともに、その貢献を称えることが必要です」

ロータリー財団の新しい補助金モデル が 7 月から全地区に導入されることに触れた会長エレクトは、今がロータリアンにとって「興奮に満ちたとき」であると述べました。2010 年以来、約 100 の試験地区が活用してきた新しい補助金モデルは、「ロータリー財団の新たな時代の幕開け」であり、人々の人生を豊かにするロータリーの可能性を実現する機会であると、会長エレクトは述べます。「（未来の夢は）ロータリーの素晴らしさをすべて取り入れ、さらに大きく、持続可能な国際プロジェクトを促すと同時に、地域社会のニーズに応える地元プロジェクトの柔軟性を高めることによって、ロータリーを新しい次元へと昇華させるもの」と話す会長エレクトは、新システムへの移行において、地区ロータリー財団委員長と協力してクラブを援助するよう、次期ガバナーに呼びかけました。

協議会に先立ち、会長エレクトは、「模範を示して導く」ために、次期ガバナー全員がロータリー財団に寄付を行うよう求めました。その結果、全 537 地区のガバナー・エレクトから寄付が寄せられ、さらに RI 理事会と財団管理委員会も全員が寄付したことにより、総額で 675,412 ドルが集まったことが、会長エレクトから発表されました。「もし私が寄付をお願いしていなければ、これだけの寄付は集まらなかったのではないか」と話す会長エレクトは、次のように続けました。「これは、今日ここにいる私たち全員が心得ておくべきことだと思います。誰かに何かをしてもらいとき、相手がそれに気づいて自発的に行動するのを待つか、お願いするか、二つの選択肢がありますが、後者のほうがずっと理にかなっているのではないでしょうか」

会長エレクトはさらに、これが会員増強にも当てはまると述べ、新会員候補者に入会をお願いすることは全ロータリアンの責任であると強調しました。国際キワニスの青少年プログラム、キー・クラブに所属していた自らの高校時代に触れ、「自分はいつかキワニアンになるだろうと思っていた」と語るバートン会長エレクト。しかし、実際に入会を誘ってきたのはオクラホマ州のノーマン・ロータリー・クラブだったことから、結果的にロータリーに入会することになったと話します。「ですから、まずはお願いすることが重要なのです」

さらに、会員増強の活動は新会員を入会させたときに終わるのではないと、会長エレクトは訴えます。「入会した新会員がロータリーに積極的に参加し、ロータリーによって意欲を高め、ロータリーの奉仕のパワーで人々の人生を豊かにできるようになって初めて、仕事が終わったことになるのです」

ENGAGE
ROTARY
CHANGE
LIVES

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1/27	1/28 ◆南ＲＣ **「新 年 会」** 18:30～ 於：松木屋	1/29 ◆北ＲＣ **「新 年 会」** 18:30～ 於：魚長 ※記帳ができます	1/30 ◆三条ＲＣ 卓話 三条公証役場 公証人 永井 敏夫 様	1/31 ◆東ＲＣ 「ﾛｰﾀﾘｰ理解推進月間」 中澤 進Ｒ情報委員長	2/ 1	2 米山奨学委員長 セミナー 11:45～ 於：長岡ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ
3	4 ◆南ＲＣ 「クラブ・フォーラム ／ショートスピーチ」	5 ◆北ＲＣ 「世界理解月間」 Ｒ財団奨学生 Susanna Jo Simon さん	6 ◆三条ＲＣ 卓話 （株）スノーピーク 代表取締役 山 井 太 様	7 ◆東ＲＣ 「世界理解月間」 古澤 秀夫 国際奉仕委員長	8	9
10	11 建国記念日 ◆南ＲＣ 休 会	12 ◆北ＲＣ 三条南ＲＣ 坂井 範夫 会長	13 ◆三条ＲＣ 卓話 リューデプラン 代表 石附 智恵子 様	14 ◆東ＲＣ 卓話予定	15	16 ロータリー財団 セミナー 12:15～ 於：ホテルニューオータニ
17 ◇三条東ＲＣ 「命の大切さ」講演会 講師 ゴスペル歌手 市岡 裕子 様 15:30～於：中央公民館	18 ◆南ＲＣ 「世界理解月間」 野水 孝男 国際奉仕委員長	19 ◆北ＲＣ （株）日本政策金融公庫 三条支店長 芝田 秀則 様	20 ◆三条ＲＣ 卓話 川瀬 康裕 会員	21 ◆東ＲＣ 卓話予定	22	23 会長エレクト 研修セミナー 10:00～ 於：中条ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ
24	25 ◆南ＲＣ 卓話 池 田 稔 会員 「県央救命救急 センターの現状」	26 ◆北ＲＣ 「会長エレクト研修 セミナー出席報告」 丸山 勝会長エレクト	27 ◆三条ＲＣ **「新 年 会」** 18:30～ 於：ｼﾞｵ･ﾜｰﾙﾄﾞ VIP ※記帳ができます	28 ◆東ＲＣ 卓話予定		

＊近隣ＲＣ例会変更のお知らせ

●加茂ＲＣ　２月21日（木）夜例会「日本酒を楽しむ会」

●吉田ＲＣ　15日（金）夜例会

記帳場所
加茂産業会館２Ｆ
山岸会計事務所

表紙について

あの日の一枚 ･･･**「創立 20 周年記念式典」**会場入口風景

六角イメージの２０周年シンボルマークデザインは、大竹和男さん
（実行委員会/式典・会場委員長、第 23 代会長）1988 年６月５日於:県央地場産業振興センター